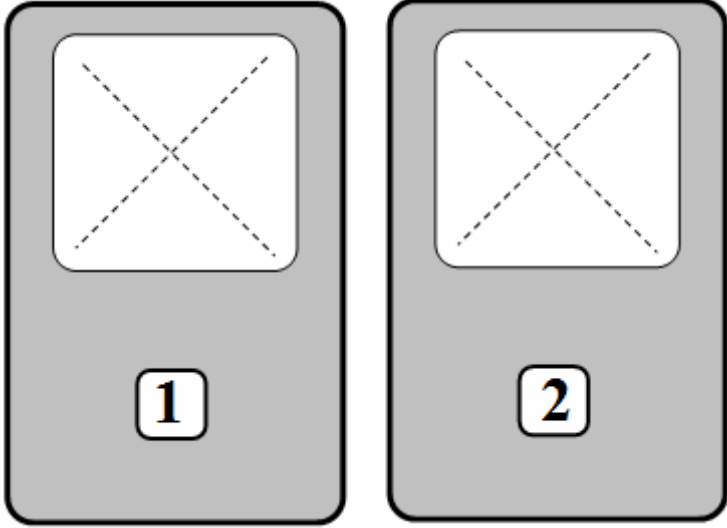
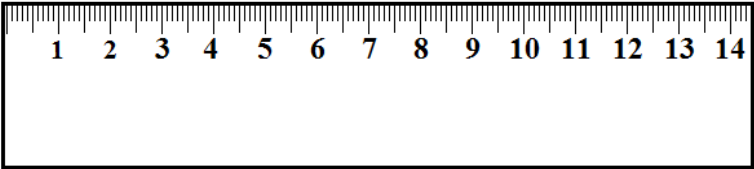

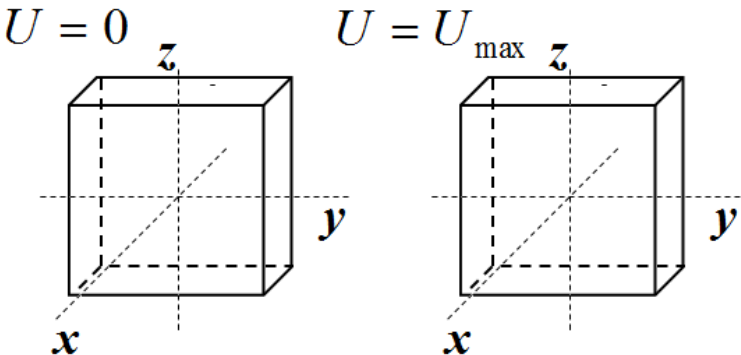


大きな箱に示されている装置のシリアル番号

Part 1.

1.1	偏光軸の方向		
1.2.1	プラスチック定規で考えられる光学軸のすべての方向		
1.2.2		$\Delta l_1 =$ <span style="margin-left: 200px;"><math>\Delta l_\Sigma =</math></span>	
1.3.1	プラスチックリボンで考えられる光学軸のすべての方向		
1.3.2	暗い帯の中央の座標	$x_L =$ <span style="margin-left: 150px;"><math>x_R =</math></span>	
1.4.1	液晶セルで考えられる光学軸のすべての方向		

--	--	--	--	--	--

---

1.4.2		$U_{cr} =$	
-------	--	------------	--

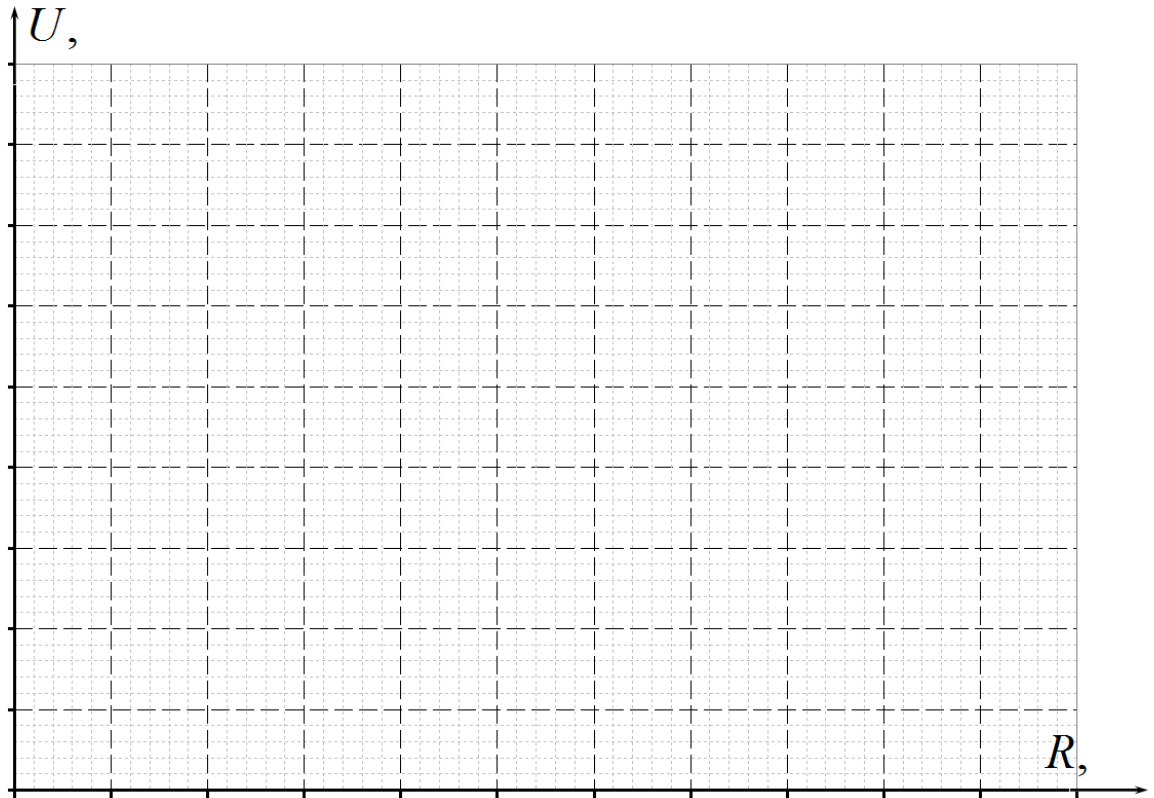
**Part 2.1**

2.1.1	回路図にスイッチを記入せよ。	
-------	----------------	--

2.1.2 抵抗値の関数としての電圧

	n = 0		n = 5	
	R,	U,	R,	U,
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

2.1.2 その抵抗値の関数としての抵抗器にかかる電圧

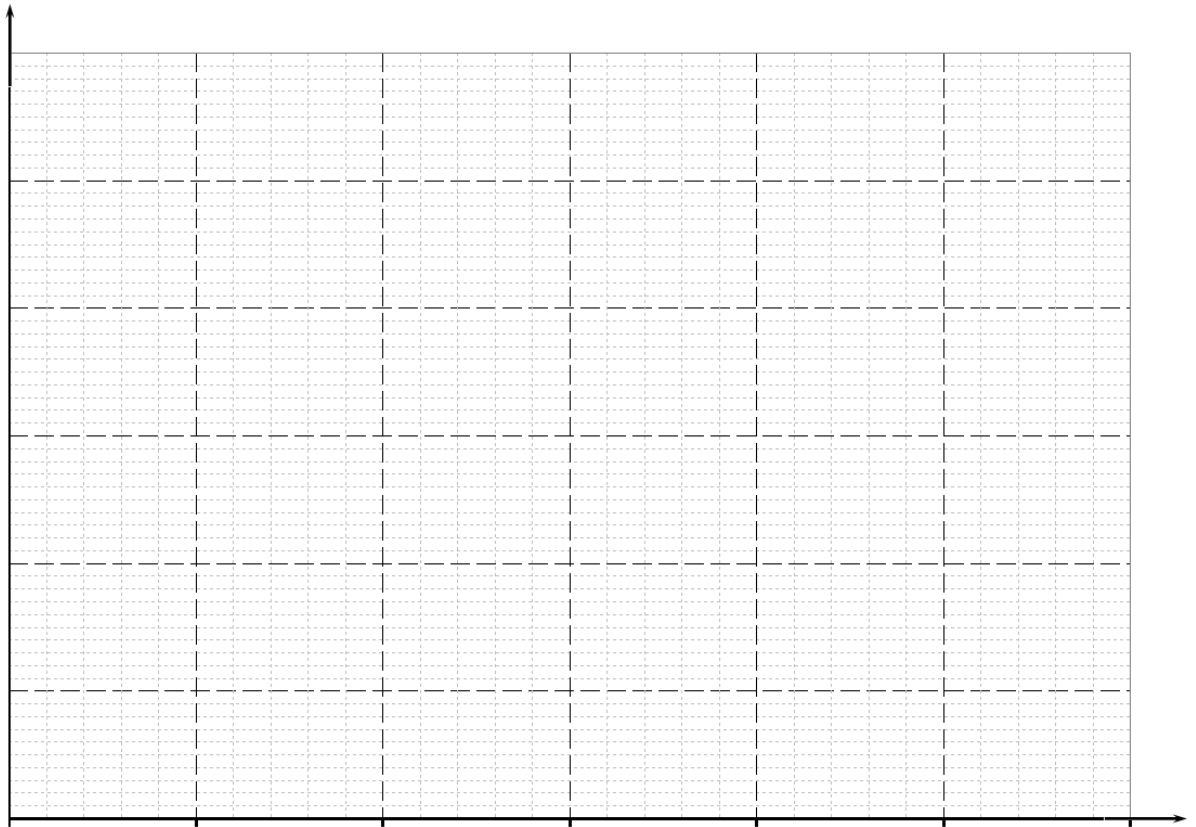


抵抗値の範囲:

$$R = ( \quad - \quad )$$

2.1.3 フィルターの枚数の関数としての電圧

$n$	$R =$		$R =$		$R =$	
	$U,$		$U,$		$U,$	
0						
1						
2						
3						
4						
5						



2.1.3 これ以降の測定に最適な抵抗値

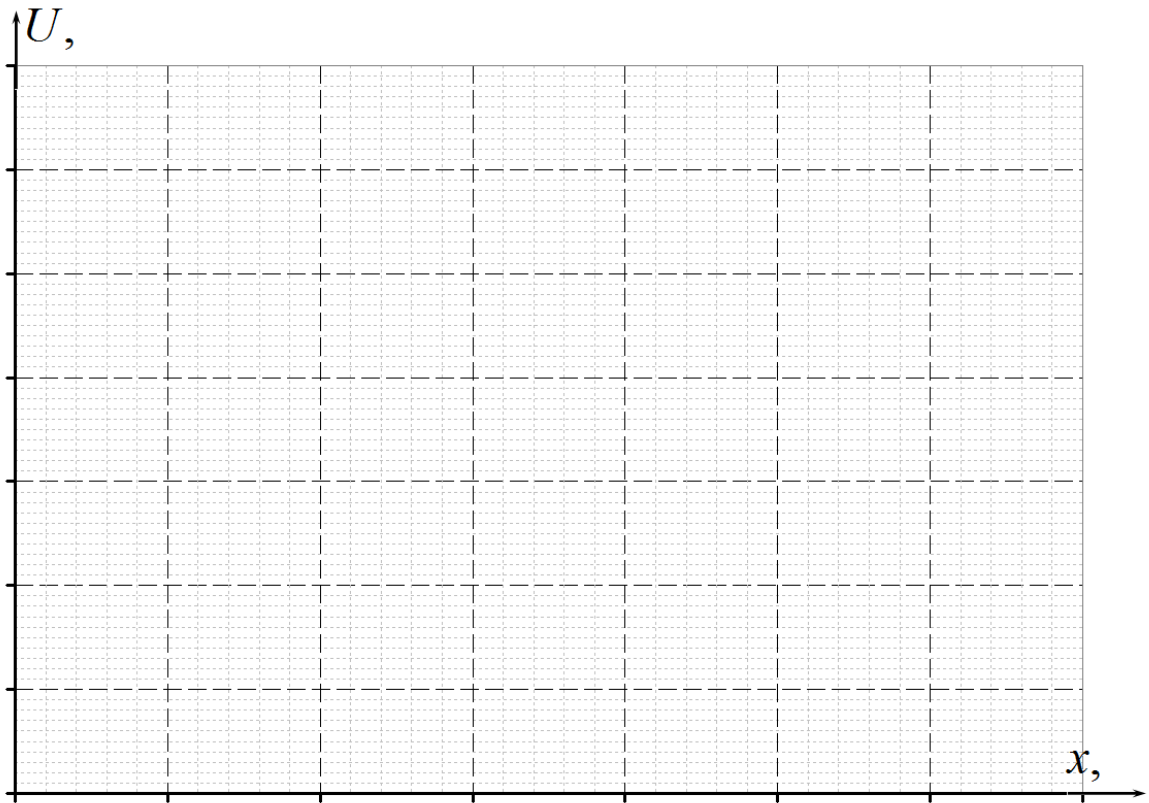
$$R_{opt} =$$

2.1.4 フィルターの透過率

$$\gamma =$$



2.2.1 座標  $x$  の関数としての透過光の強度のグラフ



2.2.2  $x$  の関数としての位相差の値のグラフ



計算に用いた式:

2.2.3 係数  $(\Delta\varphi)_{1,2} = a_{1,2}x + b_{1,2}$  の数値

定規 1

$$a_1 = \qquad b_1 =$$

定規 2

$$a_2 = \qquad b_2 =$$

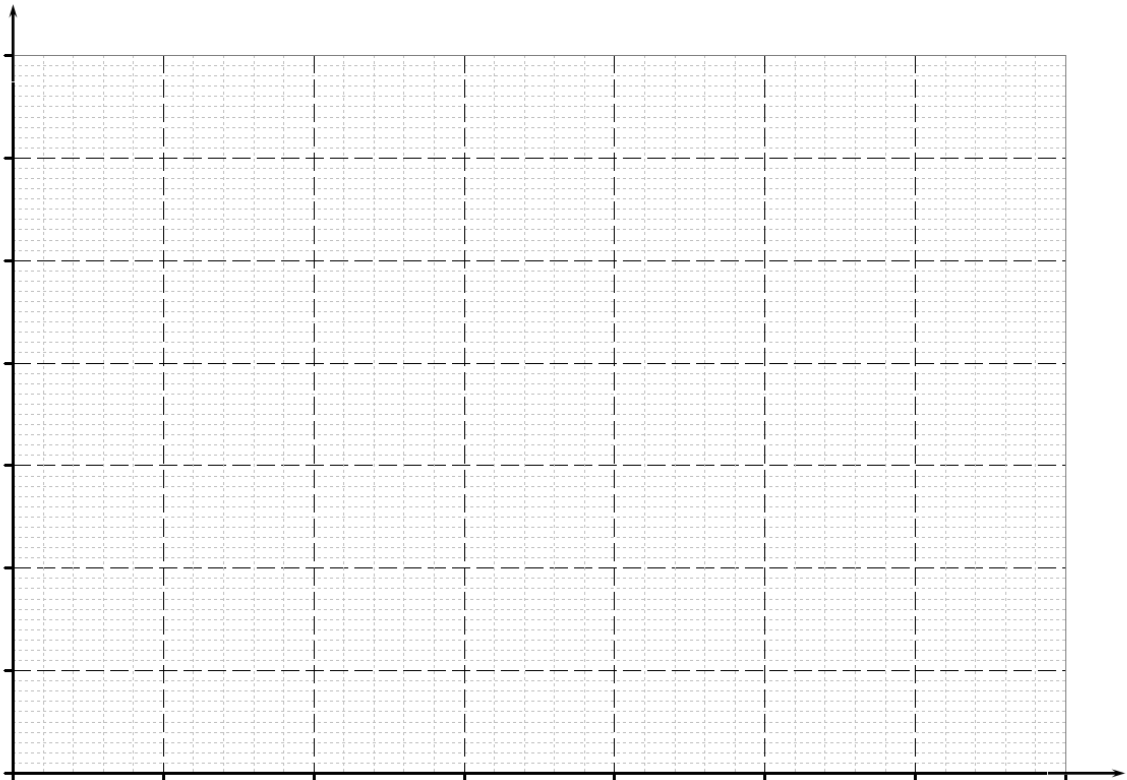
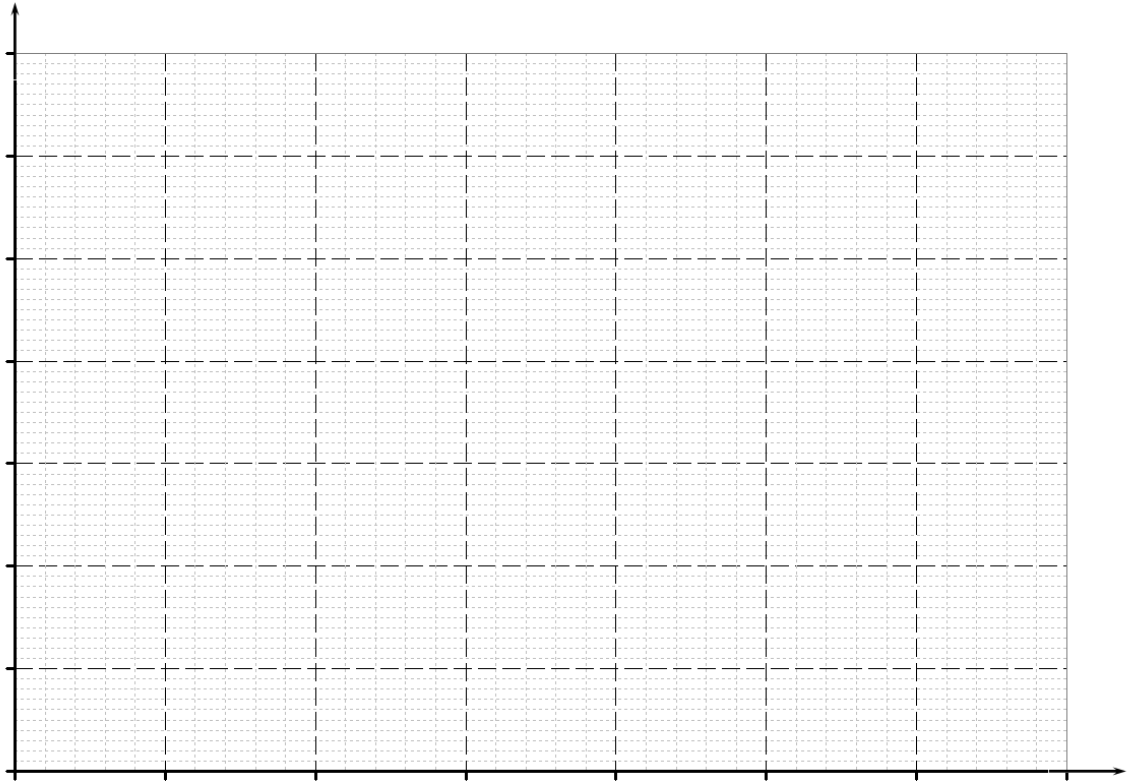
2.2.4 計算に用いた式

$$U =$$

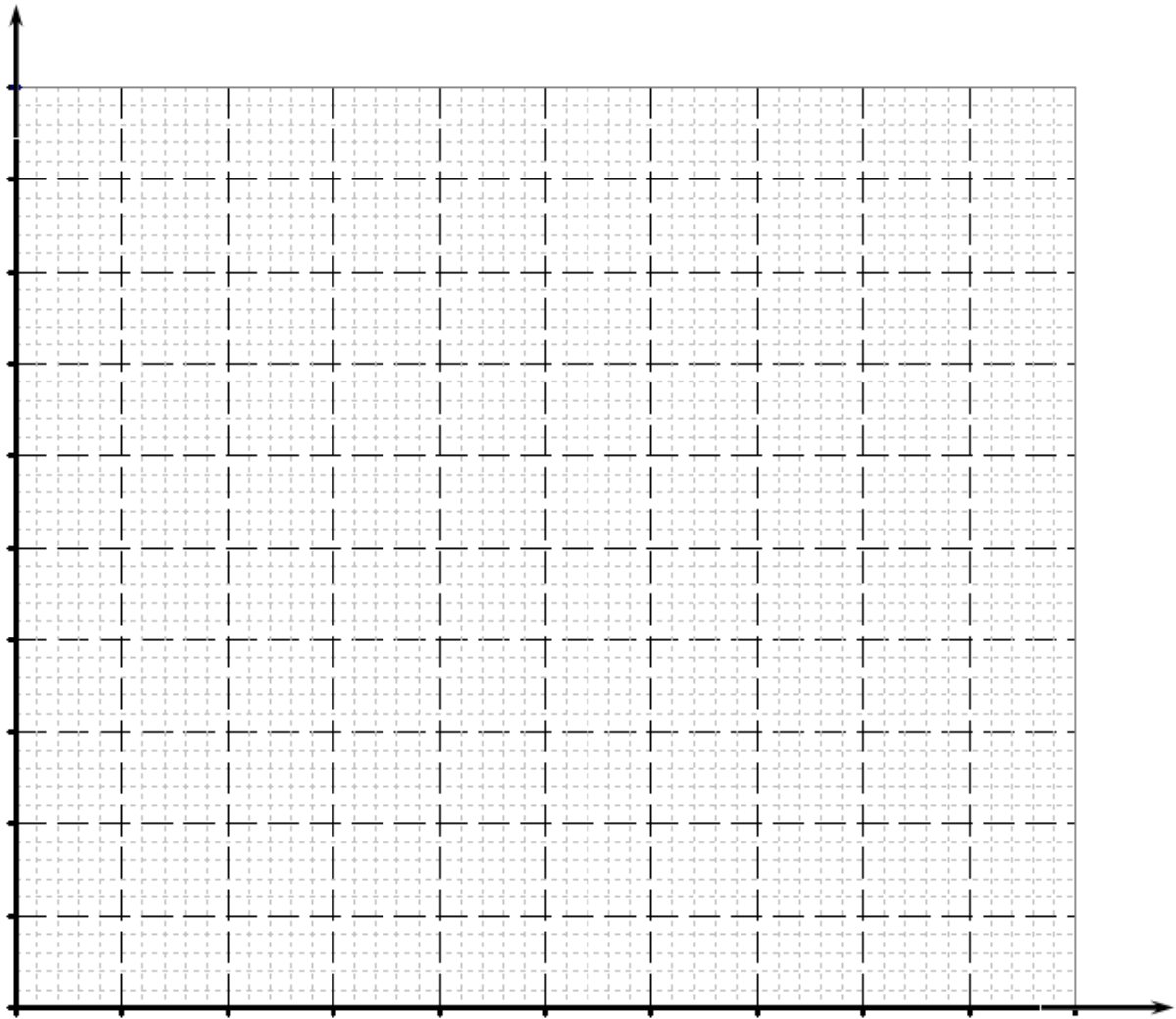




2.3.1. 電圧の関数としての強度のグラフ







数值

$$\beta =$$



2.4.2

$\Delta\varphi_0 =$

2.4.3 曲率半径

$R =$